

墨田区のお知らせ2013.3.21 NO.1705 (毎月1日・11日・21日発行)

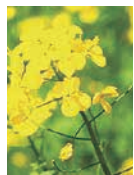
# すみだ

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

すみだと全国の旬間歳時記 ●菜種梅雨

3月下旬～4月上旬に降り続く雨のこと。菜の花が咲く頃に降るため、この名がついた。また、菜の花をはじめ、いろいろな花の開花を催すことから「催花雨(菜花雨)」とも呼ばれる。



2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2面…自転車放置禁止区域の指定
- 3・4面…講座・教室・催し・募集

## すみだの魅力にも出会える場所 「ひきふね図書館」開館

区内最大の広さ・蔵書数の「ひきふね図書館」が、4月1日、京成曳舟駅前に開館します。すみだの特色や豊富な資料を活用した催し・展示を行うなど、本を借りる以外にも“新たな知識・情報に出会う楽しみ”があふれる図書館を、ぜひ、ご利用ください。



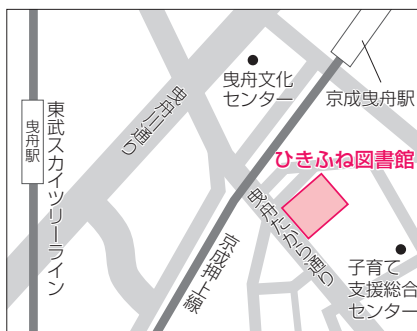
親子でくつろげる「はだしのコーナー」は子育て世代の交流の場にもなります

### “知”と出会う喜びが待っています

区では、「あずま図書館」と「寺島図書館」を統合し、区内最大の広さ・蔵書数となる「ひきふね図書館」を、4月1日に、京成曳舟駅前に開館します。この図書館には、自動出納書庫等の最新機器のほか、小さな子どもや保護者が気兼ねなく利用できるよう、一般利用者のスペースと離れた場所に設置された「こどもとしょじつ」など、利用者の視点に立った

設備が満載です。また、すみだの魅力が感じられる多彩な展示を館内各所で行うほか、区のボランティアリーダー育成講座の修了者を中心に結成された「墨田区ひきふね図書館パートナーズ」と区が協働し、豊富な資料等を活用した催し・展示も企画して行うなど、本を借りる以外にも、“新たな知識・情報に出会う楽しみ”があふれています。すみだらしさが存分に味わえる「ひきふね図書館」を、ぜひ、ご利用ください。

### 「ひきふね図書館」の案内図・概要



**【開館時間】**午前9時～午後9時(「こどもとしょじつ」は午後6時まで)  
\*日曜日・祝日は全館午後5時まで  
**【休館日】**毎月第3木曜日、年末年始、特別整理期間**【収蔵可能資料数】**約40万点(開架図書は約16万点)**【専有面積】**約3400m<sup>2</sup>**【所在地】**京島1-36-5(2階～5階部分)**【問合せ】**ひきふね図書館 公5655-2350

### 「ひきふね図書館」の設備・特徴をご紹介します

●自動貸出し機  
貸出し券のバーコードと本のICタグを自分で機械にかざすだけで借りることができます



●自動出納書庫  
書庫(閉架)に保管されている資料を2分以内に取り出せます

●こどもとしょじつ  
靴を脱いでくつろげる「はだしのコーナー」や幼児用トイレ、授乳室があるので、小さな子どもと一緒に安心です



●デジタルサイネージ(電子看板)  
館内各所に設置されており、地域の生活情報等に出会えます

●個人用学習席  
予約制の学習席が全82席あり、読書や勉強に集中できます



●すみだの魅力を感じられる展示  
すみだの産業・歴史・文化などをテーマとした楽しい展示が館内に散りばめられています



●すみだならではの特集  
芥川 龍之介、永井荷風といった、すみだゆかりの作家を集めて紹介するなど、すみだの図書館ならではの工夫が盛りだくさんです



まちの方に聞きました

### 図書館でいろいろな“交流”ができる楽しいですね

岡本卓馬さん(石原一丁目在住)

以前、「ひきふね図書館を活用したビジネス支援」というテーマで講師を務めさせていただいたことがあります。図書館というと「本を借りるところ」というイメージが強いのですが、本をきっかけに多くの人が集まる場所という点に注目することで、図書館の持つ可能性は大きく広がると思います。例えば、座談会のように、集まった人同士で、世代や分野を超えた“知の交流”ができる催しなどがあるとおもしろいですね。また、子どもと一緒に図書館に行くと、たくさんの本に囲まれて子ども自身は楽しそうなのですが、どうしても声を出したり、走り回ったりしてしまうの



で、周りが気になって早々と帰らなければならないことが多くありました。だから、子どもがのびのびと過ごせる「こどもとしょじつ」がひきふね図書館にできると聞き、とても楽しみにしています。無料で使えて、靴を脱いで遊ばせられる場所が少ないので、「はだしのコーナー」があるのも助かりますね。そこで子ども同士、親同士の交流もできたら良いなと思っています。